

令和元年度の流域下水道における温室効果ガス排出量の状況

「京都府流域下水道における温室効果ガス排出抑制計画」に基づき、令和元年度における温室効果ガス排出量の確定値をとりまとめたところ、洛西浄化センター3号焼却炉の本格稼働や宮津湾浄化センターの鶴賀ポンプ場圧送管の新設による送水効率向上などにより、平成25年度と比較して排出量、原単位ともに減少しました。

また、同計画に基づき、府ホームページで公表します。

記

1 令和元年度温室効果ガス排出量

	実績	基準年度比 (平成25年度)	令和2年度目標値
排出量 ^{※1} (t-CO ₂)	37,454	13.5%減 [43,298]	基準年度比5.8%以上削減 [37,609]
排出量原単位 ^{※2} (t-CO ₂ /千m ³)	0.334	14.7%減 [0.391]	基準年度比10%以上削減 [0.333]

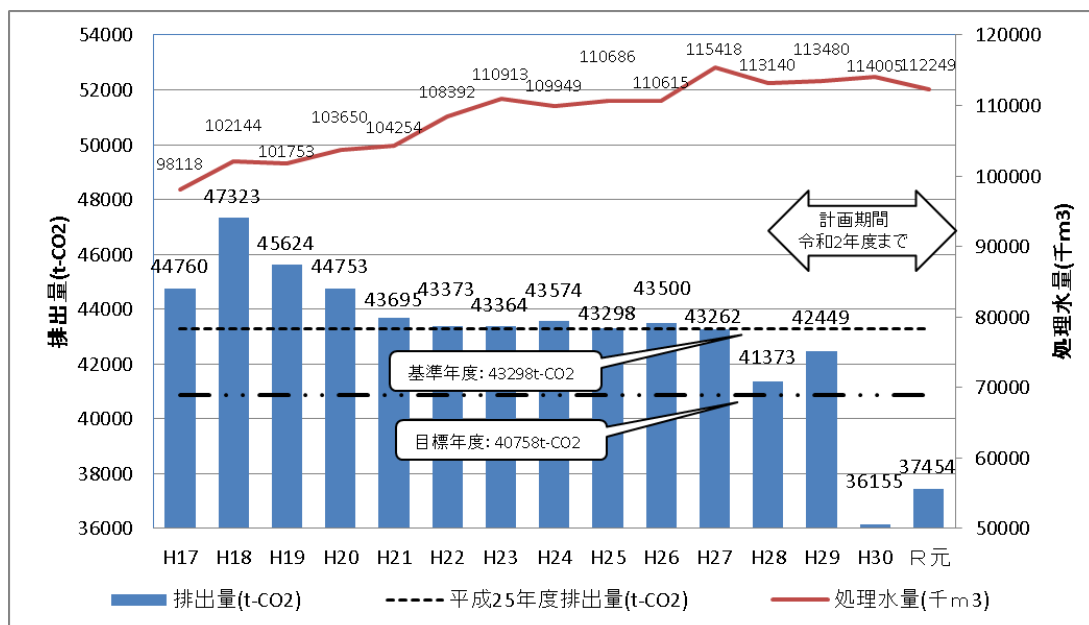
※1：下水処理を行うことで排出した温室効果ガス(CO₂)の年間総量

※2：下水処理水量千m³当たりの温室効果ガス排出量

※3：計画に基づき、排出量等の算出には、電力排出係数については平成23年度の関西電力(株)の実績値である0.450kg-CO₂/kWhを固定して使用

2 これまでの温室効果ガス排出量

	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年
排出量 (t-CO ₂)	43,298	43,500	43,262	41,373	42,449	36,155	37,454
増減	—	202	▲238	▲1,889	1,076	▲6,294	1,299
排出量原単位 (t-CO ₂ /千m ³)	0.391	0.393	0.375	0.366	0.374	0.317	0.334
増減	—	0.002	▲0.018	▲0.009	0.008	▲0.057	0.017



3 排出の状況

○増加要因

- ・ 処理水量の増加による使用電気量の増加【全センター】

1,552t-CO₂ (+4.8%)

○減少要因

- ・ 3号焼却炉の本格稼働(R元.9~現在)にかかるエネルギー使用の高効率化による汚泥の焼却、灯油の使用量及び電力使用量の減【洛西】

▲4,310t-CO₂ (-76.2%)

- ・ 消化ガス発電機の運転稼働量減少による都市ガス使用量の減【洛南】

▲2,170t-CO₂ (-50.0%)

- ・ 桂川中流流域下水道の移管に伴う減

▲916-CO₂ (-2.1%)

※その結果温室効果ガス排出量を 5,844t-CO₂ (37,454-43,298=-5,844t-CO₂)

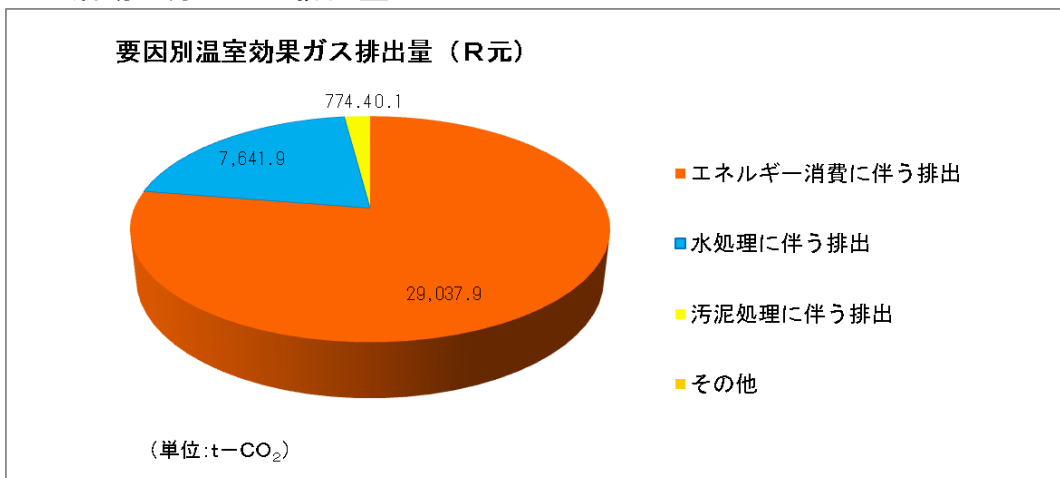
削減

4 R2年度の目標達成見込み

洛西浄化センターにおける3号焼却炉の本格稼働にともない、CO₂排出量の増加が見込まれることから、一時的に目標の達成が厳しい状況。

<参考>

1 活動区分ごとの排出量



2 流域下水道ごとの排出量

